# 鞍小 NEWS

## みんなでつくる新しい学校

No.22　令和 8 年 10 月 15 日発行

発行編集　鞍手町教育委員会 教育課教育環境整備係
0949-42-7202

「鞍手町立小学校のあり方検討便り」は、
「鞍小 NEWS（ニュース）」に変わりました。

鞍小NEWS　検索

令和 10 年 4 月、町内 6 つの小学校が統合し、鞍手小学校が開校する予定です。現在、校舎の建設とともに、校章・校歌づくりやスクールバスの運行に向けた準備を進めています。地域や保護者の皆さんの声を大切にし、鞍手町立小学校統合準備委員会（※）の意見をいただきながら、子どもたちが安心して通い、地域に親しまれる学校づくりに取り組んでいます。

※鞍手町立小学校統合準備委員会
保護者代表 7 人（6 小学校・鞍手中学校 PTA）、地域代表 1 人（区長会）、学校代表 1 人（校長会）の計 9 人で構成される委員会です。

### Topic 1

### 新しい学校のシンボル、校章が決定！

78 件の校章デザイン素案から、統合準備委員会が 3 案を選定し、教育委員会で鞍手小学校の校章を決定しました。

六角形を基調とした柔らかな曲線は、6 校が一つに結ばれ、支え合う姿を表しています。6 色の丸は「創造・協働・尊重・挑戦・自立・愛郷」を象徴し、子どもたちの成長への願いを込めています。

中央の「鞍小」と外枠には、知性や信頼感を表す濃い青を採用。多様な個性を包み込み、未来へ歩む学校の姿を表現しています。

### Topic 2

### みんなの言葉を、歌い継がれる校歌へ



今年初めに募集した校歌の歌詞・フレーズには、67 人の皆さんから 268 件の応募がありました。地域への思いや子どもたちへの願いを寄せていただき、ありがとうございました。応募作品は統合準備委員会で確認した上で、鞍手町出身の音楽家の方へ届け、現在、作詩・作曲・編曲を依頼しています。

6 校の歴史や伝統を大切にしながら、新しい学校の歩みを感じられる歌へ。皆さんの言葉に込められた思いを生かし、世代を超えて歌い継がれる校歌づくりを進めています。



### Topic 3

### スクールバスの運行方法は、引き続き検討中

スクールバスの運行範囲と運行方法について、統合準備委員会で検討を続けています。

運行範囲は、通学時の子どもたちの負担軽減に加え、バスの台数増加に伴う費用や徒歩通学のよさなど、さまざまな面から検討しており、現時点では決定していません。運行方法についても、乗り降りの確認、乗り遅れた場合の対応、安全なバス停の設置場所などが課題に挙がっています。子どもたちが安全に通学でき、保護者の皆さんも安心できる運行に向けて、引き続き協議を進めます。

# 鞍小 NEWS
## 建設進捗レポート②

### 学校を支える土台から、未来の学び舎へ。

令和 10 年 4 月の開校に向け、鞍手小学校の建設が進んでいます。少しずつ変わる工事現場の様子を、空からの写真とともにお届けします。

**鞍手小学校建設工事の近況**

### 学校を支える基礎が完成しました

令和 8 年 4 月 3 日の起工式を経て、鞍手小学校の建設工事が着実に進んでいます。地盤を強くする「柱状地盤改良工事」と、建物の土台をつくる「基礎工事」が完了しました。

現在、工事全体の約 15％が完了しています。子どもたちが学び、集う新しい校舎を支える土台が整いました。

**写真でたどる工事の進捗**

### 空から見る、学校づくりの歩み

右の写真では、6 月から 8 月にかけての工事の様子を紹介しています。地盤の改良から基礎づくりへと進む、現場の変化をご覧ください。

① 2026 年 6 月……柱状地盤改良工事が完了
② 2026 年 7 月……基礎工事
③ 2026 年 8 月……基礎工事が完了
④ 現場で活躍中のクローラークレーン

**今後の予定**

### 次は、校舎の骨組みづくりへ

これからは、柱・壁・床など、校舎の骨組みとなるコンクリートをつくる工事が始まります。

地面の下の土台づくりから、地上の校舎づくりへ。工事が進むにつれて建物が立ち上がり、新しい学び舎の姿が少しずつ見えてきます。

### 見えないところで学校を支える「基礎」

基礎は、建物と地盤をつなぐ大切な部分です。建物そのものの重さや、地震・強風などによって建物に加わる力を地盤へ伝え、校舎をしっかりと支えます。

完成後は見えにくくなりますが、子どもたちが安心して学校生活を送るために欠かせない、その土台をつくるのが「基礎工事」です。

**安全な工事への取り組み**

### 地域の皆さまのご協力に感謝いたします

工事車両の通行や作業に伴う騒音などにより、周辺にお住まいの皆さまにはご不便・ご迷惑をお掛けしています。日頃から工事へのご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

引き続き、工事車両の通行管理や騒音対策を行い、安全の確保と周辺環境への配慮に努めながら工事を進めます。開校に向けて、今後ともご理解とご協力をお願いします。



① 柱状地盤改良工事が完了。校舎の基礎となるコンクリートを流し込むため、型枠を組み立てています。



② 校舎の右側から、コンクリートの基礎ができてきました。土台づくりが着実に進んでいます。



③ 基礎工事は完了。校舎の右側では、床コンクリートの施工も進んでいます。




④ クレーンの名前は、「みなみっこ（正面）」、「くらてっこ（左端）」。剣南小学校の児童が名付けました。